

令和7年度 越前町立織田小学校スクールプラン

教育目標

たくましく生きる子の育成

〈家庭・地域の願い〉

- ・明るく、元気な子
- ・優しく、思いやりのある子
- ・意欲的に取り組み、最後まであきらめずに努力する子

めざす児童像

- 思いやる子
- T 高め合う子
- A 明るく元気な子

〈児童の実態〉

- ・明るく、元気である。
- ・学習や生活に真面目に取り組む。
- ・学年を越えて楽しく生活している。
- ・集団で最後まで頑張り抜く力が育ちつつある。
- ・自主的な行動が苦手である。

重点目標	心と体を育む ～「心身ともにたくましい子」の育成～		学びを育む ～「対話を通して考えを深め、互いに高め合う子」の育成～	
	心身ともにたくましい子の育成	自己解決できる子の育成	考えを深め高め合う子の育成	自己存在感を実感する子の育成
目標	めあてをもち、最後まであきらめずに取り組む力を育成する。	課題に進んで取り組み解決できる力を育成する。	自分の考えをもち、つながり合って考えを深める児童を育成する。	自己存在感を実感する児童を育成する。
具体的な取組	心と体を育む（指導部） ・学年の月目標や学校行事のめあて等を子どもたちで考えさせ、ゴールを示す。 ・毎週月曜日の朝の会で学年の月目標を確認し、毎週金曜日の帰りの会で振り返る。	・自分たちの課題を考え、学年目標や学年の月目標等に立ち返り、クラス会議を行って解決を図る。 ・自己決定させる場を設け、クラス会議後に自分にできることを考える。	・OTAっ子つながろうプロジェクトで、異学年交流の場を設け、つながり合いお互いを知る。	・OTAの子見つけで良いところの紹介をする。 ・帰りの会にクラスで「いいところ見つけ」をする。
	学びを育む（学習部） ・単元のめあてを児童と共有し、単元の終わりに達成感を味わえるようにする。 ・前時からの学び、教科間の学びがつながるように指導を工夫する。	・児童が自分で考える機会を保障する。 ・教員はファシリテーターとなり、子どもたちの学習活動を支援する。	・話し合い・記述・ICT・掲示物など、多様な学びの場の設定し、つながり合って考えを深められるようにする。	・結果だけでなく、児童の学びや成長の過程を振り返られるように気を配る。 ・児童が心地よく学び合える環境をつくる。
数値目標	心と体を育む（指導部） ・「学年の月目標や学校行事のめあてをもち、あきらめずにがんばることができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「学年の月目標や学校行事のめあてをもたせ、あきらめずに取り組ませることができた」と答える教員を90%以上にする。	・「クラス会議で自分たちの課題を考え、進んで取り組み解決することができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「クラス会議で自分たちの課題を考え、進んで取り組み解決させることができた」と答える教員を90%以上にする。	・「OTAっ子つながろうプロジェクトで、他の学年とつながり合うことでお互いを知ることができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「OTAっ子つながろうプロジェクトで異学年交流の場を設ける時につながり合う活動になるよう支援できた」と答える教員を90%以上にする。	・「学校やクラスの一員として、がんばることができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「学校やクラスの一員だと感じられるような活動に取り組ませることができた」と答える教員を90%以上にする。
	学びを育む（学習部） ・「学習のめあてをもち、最後まであきらめずに取り組むことができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「前時からの学び、教科間の学びがつながるように指導を工夫することができた」と答える教員を90%以上にする。	・「学習で、自分の考えをもって取り組むことができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「教員はファシリテーターとなり、子どもたちの学習活動を支援することができた」と答える教員を90%以上にする。	・「学習で、自分と友達を比べて考えを深めることができた」と答える児童を90%以上にする。 ・「児童がつながるための多様な学びの場を設定し、考えを深めさせることができた」と答える教員を90%以上にする。	・「学習を通して、自分がわかったことやできるようになったことがあった」と答える児童を90%以上にする。 ・「児童が学びを振り返り、成長を実感できるよう工夫できた」と答える教員を90%以上にする。
「子どもとともに」 学校を支える支援				
具体的な取組	○ 地域と一体となった教育活動 ・ふるさと学習の推進 ・ボランティア先生、PTA等の関係団体との連携 ・メディア、情報機器などの安全な活用 ・地区内の保育所（園）、中学校と定期的に連絡会、訪問		○ チーム「OTAっ子」としての組織力向上 ・教職員が余裕をもち笑顔で業務ができるように業務の見直し ・企画委員会を開催し、取り組みの進捗状況を確認・修正 ・いじめ・不登校の未然防止、早期対応、発達支持的生徒指導 ・人権教育・インクルーシブ教育を行い、多様性を認め、一人一人を大切にする意識の向上	